

第3回岡谷市基本構想審議会

会 議 録

【出席者】

○委員（18名）

丸山 晴久委員、太田 博久委員、齋藤 博子委員、味澤 宏重委員、太田 深穂委員、
小口 裕文委員、小野 繁男委員、片桐 伸介委員、小林 妙子委員、薩摩 建委員、
佐藤 一樹委員、高橋 功委員、武田 彰委員、新田 隆史委員、堀 武文委員
山崎 舜次委員、山田 和男委員、横内 和子委員

（※欠席者…中山 昇委員、上沼 隆弘委員 計 2名）

（事務局）

| | |
|---------|-------|
| 市長 | 今井 竜五 |
| 副市長 | 小口 道生 |
| 企画政策部長 | 白上 淳 |
| 企画課長 | 木下 稔 |
| 企画課統括主幹 | 小平 寛 |
| 企画課主幹 | 清水 亮 |
| 同主査 | 新村 尚志 |

第3回岡谷市基本構想審議会 会議録

令和2年8月31日（月）
午後1時15分～午後3時
市役所8階 全員協議会室

○委嘱書の交付

○市民憲章唱和

1 開会

2 市長あいさつ

皆さまには、大変お忙しい中、岡谷市基本構想審議会にご出席賜りまして誠にありがとうございます。

また、日ごろから岡谷市政の推進に対しまして格別なご支援、ご協力を頂いておりますことに感謝を申し上げます。

ただいま、皆さまに本審議会の委員の委嘱書を交付させて頂きましたところ、快くお引き受けいただきましたことにも重ねて御礼を申し上げます。

さて、皆さまにマスクをして頂いているわけですが、新型コロナウイルス感染症は私達の市民生活や社会経済活動に大変大きな打撃を与えておりまして、厳しい状況が続いているところでございます。

しかしこのような状況の中においても、岡谷市では、岡谷市のまちづくりの根本の計画である第5次岡谷市総合計画に掲げました各基本目標の実現、計画の将来都市像であります「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」の実現に向けまして、各事業、政策を力強く前進をしまりたいと考えております。

委員の皆さまには各分野で大変活躍されているわけですが、皆さまにはこの総合計画の進捗状況について評価いただいたり、またこれまでに培って頂きました豊富な経験とご見識を元に致しまして、計画等について、それぞれのお立場でご意見ご提言を賜ることをお願いいたします。

岡谷市といたしましては、皆さまから頂きましたご意見ご提言を参考にさせて頂きまして、各課題に適切かつ迅速に対応する共に、各種の施策につきまして着実な進捗をして参りたいと考えております。

委員の皆様には、岡谷市のまちづくりにつきまして、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願いを申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

2年間、大変お世話になります。よろしくお願い申し上げます。

3 自己紹介（委員→事務局）

4 正副会長の選出

| | |
|------|---|
| 企画課長 | <p>本日の会議は、岡谷市審議会等の会議の公開に関する基準により、会議の内容を録音させていただき、ホームページで後ほど、公開をいたしますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>次に「次第4. 会長・副会長の選出」になります。正副会長の選出につきましては、「岡谷市総合計画の策定に関する条例施行規則第7条」で「審議会に会長と副会長2名を置き、委員の互選により定める」と規定されております。互選にあたり、委員の方より案がありましたら、お願ひ致します。</p> |
| 委員 | 事務局一任でお願ひしたい。 |
| 企画課長 | 「事務局に一任」とのご意見がありましたが、委員の皆さんよろしいでしょうか。 |
| 各委員 | 異議なし。 |
| 企画課長 | それでは事務局より腹案がありましたらお願ひします。 |
| 事務局 | それでは、会長に岡谷市区長会の丸山 晴久さん、副会長に岡谷市民憲章推進協議会の太田 博久さんと岡谷市地域福祉支援会議の齋藤 博子さんを事務局案として提案させていただきます。 |
| 企画課長 | ただ今提案のありました事務局案は、会長に岡谷市区長会の丸山 晴久さん、副会長に岡谷市民憲章推進協議会の太田 博久さんと岡谷市地域福祉支援会議の齋藤 博子さんでございますが、委員のみなさま、いかがでしょうか。 |
| 各委員 | 異議なし。 |
| 企画課長 | 「異議なし」との声をいただきましたので、ご承認いただける方は 拍手を以って、承認をお願ひいたします。 |
| 各委員 | 「拍手」 |
| 企画課長 | ありがとうございました。 会長に岡谷市区長会の丸山 晴久さん、副会長に岡谷市民憲章推進協議会の太田 博久さんと岡谷市地域福祉支援会議の齋藤 博子さんに決定いたしました。 それでは正副会長さんから、その場で一言ごあいさつをお願ひしたいと思ひます。 |
| 会長 | 改めましてどうもこんにちは。 只今、岡谷市基本構想審議会の会長ということで、この度、務めさせていただきます、岡谷市区長会長の丸山 晴久でございます。どうぞ宜しくお願ひします。 |

| | |
|-------------|--|
| <p>会長</p> | <p>ご清聴のように、総合計画は岡谷市の長期の指針、また最上位の計画でございます。「第5次岡谷市総合計画」の5か年の2年目のスタートということでございます。さきほど、市長さんにも言われた通り、岡谷市が現在抱えている課題等を把握しまして、実行性のある目標に向けてまちづくりを確実に進めていただきたいと思います。</p> <p>今年は新型コロナの感染症ということで、職員の皆様には感染症防止対策、また商・工・サービス業の支援策など大変な業務がのしかかっているわけですが、市民の為に、是非よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>コロナ禍におきまして、当初計画した事業や内容が中止または延期になることはやむを得ないと思っておりますが、進捗状況また事業の効果検証を行いまして、市民ニーズを踏まえて、住みよいまちづくりに取り組んで頂きたいと思っております。</p> <p>委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場で培ってきて頂いた経験や知識をもとに、この審議会で、積極的にご意見をいただき、まちづくりの提言を致したいと思っております。どうぞ2年間よろしくお願ひします。</p> |
| <p>副会長</p> | <p>あらためまして、副会長に選出いただきました、太田 博久と申します。宜しくお願ひ致します。丸山会長の補佐をしながら、皆様と一緒により良い審議会になって、より良い岡谷市に繋がるよう精一杯努めたいと思ひますので、何卒よろしくお願ひいたします。</p> |
| <p>副会長</p> | <p>同じく副会長に選任されました、齋藤 博子と申します。私も前回から2年間参加させて頂いて、今回2期目ですけど、微力ながら皆様と協力しながら、岡谷市の為に頑張りたいと思ひます。宜しくお願ひ致します。</p> |
| <p>企画課長</p> | <p>ありがとうございます。それでは、慣例によりまして、ここからは太田副会長へ進行をよろしくお願ひします。</p> |

5 会議事項

| | |
|------------|--|
| <p>副会長</p> | <p>それでは、これより「次第5. 会議事項」にはいります。</p> <p>「岡谷市総合計画の策定に関する条例施行規則 第8条」では、「審議会の会議は、会長が議長となり、また、委員の過半数の出席が必要となりますが、本日の会議は委員20名中、19名が出席しておりますので、本会議が成立することをご報告いたします。</p> <p>それでは、丸山会長、よろしくお願ひいたします。</p> |
| <p>会長</p> | <p>それでは、会議事項に入らせていただきます。</p> <p>会議事項</p> <p>(1) 第5次岡谷市総合計画について</p> <p>(2) 令和2年度の主な取組について</p> <p>(3) 岡谷市の人口について</p> <p>事務局より一括して、ご説明をお願いします。</p> <p>また、説明が終わりましたら、質問のほか、委員の皆様方にはそれぞれ、岡谷市のまちづくりに対する思いや抱負など、一言でかまいませんので、ご意見をいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>それでは、資料に沿って、説明させていただきます。</p> <p>(1) 第5次岡谷市総合計画について (2) 令和2年度の主な取組について (3) 岡谷市の人口について ⇒ 【説明省略】</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいまの説明に対しまして、ご質問やご意見等ありますでしょうか？</p> <p>それでは、先ほども申し上げましたが、せっかくですので、委員の皆様から岡谷市のまちづくりに対する思いや抱負など、それぞれのお立場で、ご意見いただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、横内委員から順番にお願いいたします。</p> |
| 委員 | <p>初めてなもので色々分からなくて、すみません。確かに人口は岡谷市に限らず、諏訪地域、日本すべてが東京に集中してしまっていて、人口が減少しているのはどこもそうだと思います。</p> <p>うちの息子たちも高校の友達が上の学校へ行って地元に戻ってきた人の方が少ないくらいです。地元子どもたちが戻って来られるような魅力のある会社、工場が欲しいということと、岡谷市で子どもたちが安心して住めるようなまちにするため、安い土地があるところを求めて行ったりするので、市ではなかなか無いと思いますが、安く土地を分譲するところが必要かなと思います。</p> <p>消費者の会でも安心安全なまちづくりということで小さいところから皆さんのお手伝いみたいなことをしているのですが、高齢化が先で、今年の会員さん去年から30、40人くらいの方が会を脱退するのが多くなってきています。</p> <p>かといって、若い人たちがその会に入ることはないので、今の時代は色々な多様性があるので今までやってきたような会のやり方ではこれからどうなっていくのかとても心配なところですが、</p> <p>答えになっているか分かりませんが、以上です。</p> |
| 会長 | <p>ありがとうございました。次の委員お願いします。</p> |
| 委員 | <p>私、社会教育委員をさせて頂いているのですが、生涯を通じて学習するといった部分に対して、教育委員会からの諮問に応じて調査研究したりすることを主にやっている。私自身は民生委員の主任児童員という職務をやっており、特に子ども子育て支援では、岡谷市は他の市町村に比べても遥かに充実していると思っています。</p> <p>生まれた赤ちゃんを民生委員で訪問するこんにちは赤ちゃん事業もやっているのですが、岡谷市の充実した部分をもっとPRしてもいいと思っています。</p> <p>こどものくにとか色んな施設があって充実していますので、そういうところをPRしながら人口増に役立てて頂ければいいかなと思っています。</p> |
| 会長 | <p>どうもありがとうございました。次の委員お願いします。</p> |
| 委員 | <p>私の方からは環境保全だとか生活環境の関係ですが、皆さんご存知の通り、マイクロプラスチックが海洋汚染の大きな問題になっているわけ</p> |

です。レジ袋が有料になりましたが、風化しやすく、小さくなってしまふ。

これが一番の原因だということで、前からレジ袋の削減運動をやってきたが、中々徹底しなかったわけですが、お陰様でマイバックの普及が増え、レジ袋にもお金がかかるので、レジ袋を持っていかないというお客さんが多くていいなと思っていたところ、お店にセットしてある袋へ1個ずつ製品を入れて持って行ってしまふというのをテレビでやっていたが、そういうことのないように皆さんにもゴミの減量に協力して頂いて、岡谷市では今のところ諏訪地域で分別やゴミの減量がトップクラスですので、これを守って諏訪地域のリーダーになっていければいいなと思いますので、ご協力を宜しくお願いいたします。

会長

ありがとうございました。次の委員お願いします。

委員

私も今年からなので、流れが分からない部分もありますが、今説明を頂いた中で、人口移動で外国の方々が増えている、これはどこからの国の人が多いのかということと、なぜ外国の人が岡谷に来たのか、何か魅力があるかどうか、この部分を市で分かっているかなと思いますが、そこら辺もしっかり把握した中で、そういう部分をもう少し伸ばすということをするれば更に人口が増えるのかなと思うことと、飯田から岡谷市へ技能実習生が来たとのことですが、飯田市の方でこの技能実習生を教える学校、施設か何かがあってその人たちが岡谷に来たということだと思のですが、逆に飯田市の取り組みを岡谷で取り組めば岡谷でももう少し訓練して、そのままこちらに居ついてくれるという、そういうことにもならないかなと思いました。

それと説明内容とは少しそれますが、仕事が造園の関係なんです、他の街に行くと倉敷とか新潟とか街のメインのところに木がきれいに剪定して植えてあってみんなが思わずいいなという場所が必ずあるのですが、岡谷市にはそのような場所が無いような気がするんです。つつじは綺麗ですが、岡谷市をPRするときに水門や諏訪湖の周りだったり、景色がいいだけではやはり来てくれないかなと。20年くらい前になりますが、海野宿のところに造園家のある有名な先生が来て、海野宿のまちづくりの造り方が素晴らしいということで朝日新聞に出したんです。

ただし残念なことに、柳の木が平にぶつぶつと切ってあったと酷評をされたんです。仕事柄、色々な会議で話してきたのですが、岡谷市もそれに似ているところがありまして、木を植えたり折角良くなってきたなと思うとたぶん周りから葉っぱが邪魔だとか言われて、真ん中で切っちゃう。担当が間違っていたらごめんなさい、今井の信号から新しくバイパスを上がっていくときに綺麗な檜を植えたのですが、去年か今年に元から全部切っちゃっているんです。

岡谷市で植えたものだったら、せっかく植えてあそこまで大きくなったものを元から切るようなら、最初から植えないでやった方がいいと思うんです。

そういう部分も違った目で見えて意見を言ってますが、そういうこともしていかないと周りの人が来たときにつつじだけではないまちづくり、これから伸びるかなと思うのは出早公園のところから長地でもみじ狩りの通りにしようともみじを植えていると思いますけど、何十年も切らないでいるといい街だな、いい通りだな、となるような気がするので、長い目で計画を立てて頂ければなと思います。

会長

貴重な意見ありがとうございました。次の委員をお願いします。

委員

市の取り組み、人口を増やすとか流入の実態とか聞いて、今やられている施策をお聞きする中で岡谷市独自の魅力と組み合わせるとまだまだ可能性やチャンスがあるのかなと思いました。

都市計画課の空き家の見学会とか見させて頂いて、いい物件があるし茅野とか上諏訪よりも安くいい物件があったり、岡谷に開業した一回り若い世代を知っていますし、下諏訪や茅野に移住してきた人とかを見ているとそれなりに施策やアピールと結びついて、都会よりこっちがいいなど、若い働き手の方が移住してきたりするので色んな可能性があると思いました。

お話を聞く限りだとほとんど知らなかったりするのでアピールとか総合的に組み合わせると魅力ある施策とかやっていくと今のご時世コロナ禍の中でやっぱり都会じゃなくていいやという働き方とか、私もテレワークで東京・埼玉・大阪の方とお話とかコンサルティングをしていますが、チャンスが広がりつつあると思うので、色々な知識やアイデアを持った人間と座談会をしてみると行政が気付かないような考え方やアイデア、こういう視点があるからこういうアプローチしていけばいいんじゃないみたいな考えが広がるんじゃないかなと。

一つ一つ施策は良い施策があると思いますので、魅力あるこの街と結び付けばまだまだチャンスがあるのかなと思いました。以上です。

会長

ありがとうございました。次の委員をお願いします。

委員

質問をしたいと思います。皆さんの発言終わった後で結構ですので。前の年度の審議会でも触れたことがあったと思うが、総合計画の施策の大綱6-1にスポーツの振興というのがあるのだが、岡谷市はスケートのまちと一時期言っていたが、その後スポーツ、スケートの観点で何か施策が進んだことがあるのかを教えてください。

それから働く者の観点ということでは、岡谷市の企業誘致みたいなことがどのくらい前に進んだのか、顕著なものがあるのか分かれば教えてほしいです。

会長

スポーツの関係の質問ありましたので事務局の方で最後をお願いします。次の委員をお願いします。

委員

私、岡谷市PTA連合会長をさせて頂いております。お父さんやお母さんとお話する機会が多くあるのですが、お父さんやお母さんの最大の関心事項の中の一つに家を建てようと思ったけど、どこに建てたらいいか、困っている、土地がどこにあるのかという話がよく出ます。

皆さん、学区外には出たくないの学区内でお家を建てたいと思っっている方が一杯いらっしゃって、転校はしたくないので子ども達のためを思っるところもあります。また幼稚園から小学校に上がるタイミングが一番お家を建てるタイミングとしてよくお話を聞きますが、なかなか空いている土地がないと、空き家はいっぱいあってももちろんきれいにされているのですが、いっぱいあるけど、どうにもならないと新しい土地が出てくるのが少ないなので、そういった情報交換をお父さんやお母さんの中でよくされています。

岡谷市に住みたいと思っっているお父さんやお母さんいっぱいいるのですが、子どもたちが大きくなって家を建ててやっていこうという時に土地

が無いというところに問題があると聞くこともあります。学校において子どもたちの様子をよく聞きますが、岡谷市のお陰で楽しく仲良くやっておりますし、コロナ禍になってからも学校内は色々新しい環境に変わって音楽会や運動会の計画も今岡谷市は色々立てているようなんですが、新しい生活様式の中で新しい形でまた行われていくような算段になっていたり、修学旅行に6年生がなかなか行けないということもあって、県内の場所へ修学旅行に行くようなんですが、先生方をはじめ、市の方にも協力して頂いて子どもたちにも色んな思い出ができる形で新しい活動ができているようで大変感謝しています。

なので、お父さんお母さんたちの関心事項色々ある中でも、お家を建てたいけど、どうしたらいいかというのがありますので、そういった問題も取り組んで頂くと他の地域でもお父さんが岡谷市に就職して通ってきているから家を通勤時間も無くなると考えてらっしゃる方も多いと思いますので、是非そういった情報も出して頂けるといいと思います。

また、私会社をやっておりまして、弊社にも若い社員はいるのですが、中々結婚の相手が見つからずに困っている優しい男性がいっぱいおりますので、是非また婚活的なことも考えて頂いて内気な優しい男が出ていけそうな会なども開いて頂けると大変嬉しいかなと思っております。

丸山会長

ありがとうございました。次の委員お願いします。

委員

私たちの諏訪圏青年会議所という団体は、6市町村は一つという思いのもとやっているのですが、今この6市町村はだいたい観光業を盛んにしようとしていまして、茅野や原村とか観光誘致はコロナ禍のせいで大きく下がってしまったのですが、もともと上手くいって人口がプラスになっている要因かなと思うのですが、岡谷を見てみると観光には向かない街であるかなと思います。

岡谷は製造業中心で製造業が良くなならない岡谷は良くなならないと思っております。先ほどの方もおっしゃっていたのですが、若い方がこちらから出て行って、戻ってくるとき絶対に働く場所を考えるとと思うんです。

働いてもやっぱりあまり生活のレベルを落としたいくないとか、奥さんが嫌がるとかそういうことがあって、製造業全体的な回復、若い人の戻ってくるIターンUターンにも有効であると思えますし、戻ってくるのではなく、ここで起業したいという方、起業できる場所が無いという話も同じ団体の年若いメンバーから聞いたりして、オフィスが簡単にできるいい場所が無いとかそういう話を聞かせて頂いています。

私も昔駅の近くに住んでいたのですが、この度ララおかやが無くなるということで、諏訪圏全体に言えることですが、駅周辺が全体的に弱い、開発がいい加減というか盛んではない。

空いた店舗も多いし、店とその上に住んでいる方がいらっしゃってその住んでいる方がその場所を空けてくれないと新しい場所が作れない。新しく働く場所ができないし、やはり岡谷は車社会なのでどうしても駐車スペースが無いと店舗として難しい。そして岡谷を見ると駐車スペースが十分な場所がほとんど見当たらず、銀座とかシャッターが多くみられるような所も駐車スペースが全くないところが多いので、そういったところをどういう風に考えて、これから岡谷市で目指していくのか、そういうところを考えて活かさせていただければと思っています。

丸山会長

ありがとうございました。次の委員お願いします。

委員

第5次岡谷市総合計画もそうですし、地方創生まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの頃から関わらせて頂いて、やはり2060年にできるだけ人口4万人台を維持する、人口減少をどれだけ食い止めるかといった市役所の皆様がやられている施策も一番そこに向けてという中で、どれだけ子どもに岡谷の地で住んで育てたいと思うかという所に繋げていくところとところが改めて大事だなと感じた中で、先ほど人口の社会動態を話されていたのですが、海外からの実習生、国の施策が変わってきて長期化して最終的に技能を持っていけば定着も可能という流れになっているのですが、なかなか定着する数字として先に繋がらないという中で、全体の数字の内どれだけが海外の方なんだろうというところ、明確で外れていかないとたぶん長期的に見た場合追えているのかどうか見えないかなと思ったのですが、一方で技能がある程度だったり今後施策が変わっていけば、海外の人が定着しやすいという道に日本もしていかなければいけないという話もある中で、そういったところにもしっかりと手を出していくのか。人口を大きく下げないという意味では、そういった方向にも力を入れるべきなのか見通して、国の施策に揺らされると思うんですけど、考えられるような柔軟な体制が取れるといいのかなと今日説明頂いた数字の中で思ったところなので、狭い範囲の話ですけど思ったので、今後、海外からの働きにきているみなさんをどう捉えるかという所は大事なのかなと感じました。

会長

ありがとうございました。次の委員お願いします。

委員

岡谷の人口が減り始めたくらいの時に私もちょうど子育てをしている時期に重なりまして、昔と現代と社会情勢がどのように変わったかを思いましたところ、非常に核家族になって個人主義になりました。

私の子育ての頃はお隣の家に行ってお飯を食べさせてもらって一緒に子どもと遊んでもらってお風呂まで入れさせてもらってということが珍しくなくて、私も調味料を借りに行ったり。近所付き合いがどんどん無くなってきて、子育てしにくいという一つが、いざというときにすぐ頼める人がいない、保育ママさんなどの色々な制度があることは存じ上げておりますが、すぐ助けてもらえない。急に熱が出た、急に残業になったといつても子育てを考えると無理かなとなる面もあると思います。

岡谷ではこどものくにとか箕輪町や茅野市など大変遠くからお子さんを連れてきます。こんなにいいところがあるんだねと言われてもらえますので、結婚新生活支援事業とかそれはいいんですけど、ハードな面はとても整っていると思うんですが、もっと近所付き合いとかソフトな面がだんだん足りなくなっているかなと思ひまして、共助のまちですかね、ゴミの問題にしても何にしても小さい家が多くなってくればゴミステーションを増やせだの、市で回収する方ではそんなことできないなど色々な問題が出てきてしまいますので、お互いにお年寄りの家でゴミを持っていけないと言ったら代わりに持って行ってあげるとか、そういうちょっとしたことでもできるようなのを行政と建築の力でそんなまちづくり、2060年4万人を達成するには今から考えていかないといけないのではないかなと思います。お互いに顔が見える関係であったりとか、駅前が開発とか出ましたけど、住むことに特化して市営にして、建物は残るんですね。住んでいる人が亡くなったあとも。それを何とかバリエーションで用意してよくコレクティブハウジングちょっと言葉難しいのですが、色々な高齢者が住むパターン、お風呂は共同がいいとかシャワールームがいいとか色々なパターンを用意してとにかく人が住んでいけば、街が出来て住民税だけは入るかなとそんなことまで考えたりしておりますけれども、今から考えていかない

といけないという気がしております。以上です。

会長

ありがとうございました。続きまして、次の委員をお願いします。

委員

私、個人的な話で恐縮ですが、仕事柄転勤をずっとしてしまっていて、県内県外と、実は岡谷に来たのが2回目で、その中で私が感じているのは岡谷はとっても魅力のある地域だと私は思っています。

住みやすい地域だと思います。もちろん産業・経済・文化もありますよね、なかなか住むといいんですけども伝わらない、先ほどPRの話出たと思いますが、岡谷の強みはいっぱいあると思うんです。もちろん発信していると思いますが、なかなか伝わり切れていない。ここを何とかいいやり方がないかなと検討したり、やっていってほしいなと感じています。

今日のテーマ人口の減少のところですけども、一方でコロナ禍であって、今働き方がこれから大都市は変わってきているし、今も変わりつつありますが、逆に言うとチャンスだと思っているんですよね。都会に行くという流れが変わる可能性がある。テレワークであったり、ワーケーション（仕事とバケーション）色々なものが出てきているチャンスなのでこのタイミングで色々な施策を展開して、U・I・J ターンそういった形で人を呼び込む。あと学生ですよ。人口構成がありましたけれども、学生が戻ってこないここが一番大きい。もちろん子育ても大事ですけども、出て行った人が戻ってくるような施策をもちろんやって頂いていると思うけれど、もう少し強力に展開して、PRということをやっていけば人は集まってくると私は思っていますので、是非そんな展開がさらに審議会の中でも進んでいけばいいかなと考えております。以上です。

会長

ありがとうございました。次の委員をお願いします。

委員

岡谷市観光協会という立場ですが、先ほど岡谷市は観光に向かないところだというご意見もありましたけれども、確かに観光施設としては少なく、その中でも岡谷蚕糸博物館は関係者の努力によって毎年団体客を含めてお客さんが大勢お見えになっていたわけですけども、このコロナの影響で団体客がほとんどお見えにならないという状況でございます。

これがいつまで続くか分からないですけども、団体のお客さんが来なければ来ないで、ターゲットを違うところに絞っていくとか方法はあるんじゃないかなと考えております。

うちの近くに小坂観音院というアジサイの有名なお寺がありまして、今年はコロナの影響であじさい祭りは中止になったのですが、それでもお客さんが結構お見えになっています。PRもそんなにしてないのにお見えになっているということで、やっぱり方法はあるのかなと考えますので、何とか団体客がいない中で、考えていかなければいけないのかなと思っています。以上です。

会長

ありがとうございました。次の委員をお願いします。

委員

今日で2回目の審議会に出席させて頂きました。あまりよく分かっていなくて出席をしたわけですが、審議会の役割ということで最初ご説明がある中で、進捗状況の検討をせよと主な命題であるというふうに教えて頂いたということです。

今日は特に子育ての施策等を説明頂いたわけですが、ホームページに同じ内容で出ているのでしょうかね？もしこれと同じような内容が出てい

るのであれば、施策までのところは、第5次総合計画に出ているわけですが、具体的に計画ということで予算と出たところまでホームページの中でそれぞれの施策と結び付けて、もし出るとすると事前に市の皆さんから説明頂かなくてもそれを見るということで今日の会議、また皆で議論をするという形で持っていけるのではないかなと聞いていて思いました。

この場で資料頂いてこんなことやってたんだというのもよく分かるのですが、是非公開されているようでありましたら、そういうことの上でこの審議会が開かれるとより具体的に議論も噛み合っていけばなしではなく感じました。それはそれとして今日主に子育て等の話がありました。私も孫がいる立場で非常に真面目にやられていると感じています。非常に堅くもやられているということも、感じながら子どもたちの子育てとか見させて頂いています。

是非近隣よりもかなり意欲的に取り組んで頂いているというのがよくわかりますので、強力に進めて頂きたいと思います。以上です。

会長

ありがとうございました。次の委員をお願いします。

委員

商連とNPO法人団体に所属してまして、先ほど何人かの方がおっしゃっていましたが、駅前ララおかやの建物、駅前の開発非常に心配といいますか気にしておまして、今まで何回かコアになる商業施設を呼ぶとかスケルトンマンションにすると色々な話が出ては消えてという形で、今回も色々な事情があって来年度いっぱい壊さざるを得ないという話がチラチラと聞いたりしてる中で、あの中地の権者や管理組合の方々の色々な意見があってなかなか市の皆さんにしてみても非常に進めていくことは難しいと思うのですが、出来るだけどのようなビジョンをお持ちで私共まちおこしに昔から携わってきて、できる限りのことは協力して岡谷の窓口・顔である駅前を何とかしなければならぬ。岡谷には素晴らしい物がある、例えば映画館、ポーリング場、ショッピングモールあれだけのものがある市町村は諏訪の平らにはないものですから、せつかくなら、駅を降りてから素通りされるのではなくて、結構な若い方が皆さん駅を利用して流れていくのですが、駅前は素通りという状態になってしまっていて何かビジョンを出して頂いて、そこへ向けて我々もアイデアを出していきたいなと思いますので、その辺のところ企画課の皆さんに言うことなのかどうかわかりませんが、含んで頂きたいなと思います。以上です

会長

ありがとうございました。次の委員をお願いします。

委員

私は、今現在、子育て真っ最中ということで、まさにお母さん目線からの意見をさせて頂くと、学校の休校中に先生たちが頑張ってくれていたのですが、子どもたちがプリント学習を家で親の力を借りてやっていたことから、学校に行く意味を疑問視してまして、一体何のために学校に今まで行ってたのかな、家で勉強していれば学校行かなくてもいいじゃんという感じになってしまっていて、学年が上になればなるほどその気持ちが強くなってしまい、正直6月からの新学期、渋って行かない日が何日かありました。

また、1年生がいるのですが、1年生の子も楽しみにしていた入学式の次の日から休校になってしまったので、新しい環境に入るのが怖いという面もあったりして大変な新学期を迎えましたが、そんな中で先生たちがすごい頑張ってくれて色々な案を出して学習できる形をとってくれていたのですが、結局校長会にいくと全部潰されちゃったという話を聞いて、せつかく

く持ってきたのに上手く回してもらえなかったという先生達の思いが伝わってきたので、もう少し市の方でも頑張ってもらえたらなと思いました。

学校とか地域の楽しみがあると、例えば大学で県外へ行ったりしてもまた戻ってきてここで子育てできたら楽しい、自分の子どもを育てたいという風に思えばまた戻ってくる若い世代がいるんじゃないかなということを感じています。以上です。

会長

ありがとうございました。それでは副会長お願いします。

副会長

私は岡谷市の保健委員連合会の会長をさせて頂いています。健康寿命の延伸ということではちょっと感じているのですが、前の時もお話しましたが、国民健康保険の特定検診の受診率が岡谷市は長野県で一番下か下から2番目くらいなんです。

それで令和5年度には60%が目標になっていたのですが、是非それが到達できるようにして欲しいなと感じています。今コロナ禍で外に出ることができないということで、私は地域福祉支援の関係で、いきいきデイ援助員や地域で音楽サロンやオレンジカフェとか色んな所のお手伝いをしています。

そういう所に出席できるお年寄りはとても生き生きしていますが、コロナ禍で4か月どこにも出なかったと言ったら足腰が弱ってしまっということを実感しました。

ぜひ、人の繋がりを大事にしながら高齢者が楽しく過ごせる、そういう機会とか場所などを作っていかなくてはいけないかなと感じています。

私は昭和45年から保育士になりました、岡谷市で40年働いていたのですが、昭和45年度は子どもたちに溢れている、そういう時代でした。

現在休園になっている若草保育園ですが、当時は200人を超えていました。10人以下になって休園になってしまっ、その時代は家の近くの高層住宅も子どもがいっぱいで、現在は一人暮らしの老人ということで少子高齢化を目の当たりに感じています。

現在、大学生の孫がいるのですが、話をする中で岡谷市に魅力がある働く場所があればというようなことも聞きます。皆さんが先程おっしゃっていましたが、若者に魅力のある岡谷、そして若者が帰ってこれるような企業があっ、そういう所をすることによって岡谷がもう少し良くなっていくんじゃないかを感じています。以上です。

会長

ありがとうございました。副会長お願いします。

副会長

時間も押しているみたいなので手短かにいきたいと思います。こういう会議に出させて頂ければいただくほど、岡谷市そのものは色んなことをやっ、いて他の自治体と比べた時に相対的に平均点は高いのかなということもいつも感じています。

皆さんおっしゃるような良い部分がたくさんあるなと思っています。ただ今日特に人口ということで申し上げますと、面白いデータで転出入の相手方、対象が絞られたデータが非常に面白くてこういうまちづくりとか自治体のことについてこういう言葉が適切かどうか分からないのですが、こういうデータを見させていただくとここを何とかするためには、全国的に人口が減っている中どうしても他所のところから人を取っ、てこないという、残念ながらこれが現実なのだと思います。

そうすると諏訪圏域の中ではだいぶ取ってこれている状況になっている、でもその他のところでいくとそうじゃないところもあるみたいなのところが出てきていますので、これを正確に何が原因か完全には分からないと思いますが、こういうところから出来るだけの分析をして、どういう対象の方たちに対してどういう戦略を打っていくのか、マーケティングのような観点がボツボツ必要になってきているのかなと、そうでもしないと強みをより発信して弱い部分をより無くしていくような、具体的な方策が逆に言うところこういう所から見えてくるのかなと改めて思いましたので、そんな観点で少し尖った方法論、具体策を打って、それを発信していくことによって、岡谷ってこういうことをやっている街なんだ、みたいなことがより多くの人に色んなことを満遍なくやるよりもそういう部分がいよいよ必要になって来てるのかな、そんなことを感じさせて頂きました。以上です。

会長

ありがとうございました。手短かに発言させて頂きます。まず人口と基本計画に絡めての話ですが、第2次総合計画、第3次総合計画、今から30年40年前の話ですけれども、その当時の人口は目標が6万人を意識していた時代です。景気も良かった時代です。表にもあるように40年間で1万4000人近くが減少している中で、一番市の方をお願いしたいのは、6万人の都市の公共施設がだんだん老朽化して、統廃合している時代になります。これからもっと人口が減ります。2年前、将来の公共施設の在り方ということで一人当たりの公共面積が非常に高い状態でした。

基本計画では直接は謳えない部分がありますけど、企画政策部としまして、これからの公共施設の在り方というものをコンパクトシティにしなからメリハリのある施設というものを考えていく時代だと思いますので、是非その辺を委員また市民の皆さんにお話しするようなことで進んでいきたいと思えます。以上でございます。お願いします。

一通り皆さん発言頂きましてありがとうございました。それでは、武田委員さんの方から2点ほどお聞きしたいことがございました。一つはスケートの施策ということと、企業誘致のこと、ここでお答え頂きたいと思えます。

企画課長

ご質問ありがとうございます。まず初めに施策6-1スポーツの振興で、スケートの部分でございますが、現在400Mのスケートリンクとやまびこスケートの森でアイスアリーナの施設運営をしてございます。

継続をするというのが一番の部分でございますが、他の競技と同じで競技人口が減っているという状況の中では、トータルサポートという観点で子どもたちの支援をさせて頂いてございます。そういった息の長い事業の中では、今年の広報おかやにも載ったかと思えますが、岡谷出身の岡谷南高校生で倉坪選手が世界選手権で優勝したり、花岡さんが国体で優勝したり、そういった形に少しずつ結びついているかなと思っております。学校の授業でのスケート体験も通じて、岡谷の特徴ある伝統文化という形で体験を頂いております。

あと岡谷市の企業誘致の状況でございますが、総合計画の下に岡谷市の工業活性化計画という製造業の関係の計画がございまして、平成26~30年の期間の計画において10社企業誘致の目標に9社という結果になっております。

大企業というよりは中小企業岡谷の製造業とマッチングする企業が多くなっております。

近年、ここ数年は景気が少し上向きで製造業のみなさん大変忙しい形

| | |
|------------|--|
| <p>会長</p> | <p>で、市内企業の方現在いらっしゃる市内企業の方が拡張したいというようなご相談がたくさんございましたので、そういった方面も力を入れさせて頂いております。</p> <p>また今日も話がありましたコロナ禍の中で先日工業振興課の方で話ありましたが、以前から情報交換をしていた首都圏の企業が岡谷にサテライトオフィスを構えて頂くなど、そういった流れもございますし、IT系企業等のそういったニーズがあるかどうか、工業振興課でアンケートをとっており、全国向けに対象企業を絞ってアンケートを取らせて頂いているなど、そういった取り組みもさせて頂いておりますのでよろしくお願い致します。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>そのほかに、委員の皆様からは何かありますでしょうか？</p> <p>円滑な議事進行にご協力を頂きまして、ありがとうございました。</p> <p>それでは、閉会のあいさつを太田副会長よりお願いいたします。</p> |
| <p>副会長</p> | <p>本日の会議につきましては、会議録を作成の上、後日、委員の皆様への配布とホームページへの公開をしますので、よろしくお願い致します。</p> <p>以上を持ちまして、第3回岡谷市基本構想審議会を終了いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> |